

ケニア共和国ビタ県の無歯科医地区における口腔健康調査（２回目）を実施



各学校の位置（ケニア西部ヴィクトリア湖周辺。首都ナイロビからビタ県中心地区のMbitaまでおよそ400km）



口腔内検診の様子
(Usungu Primary School)



口腔内検診の様子
(Kaswanga Primary School)

長崎大学歯学部は、平成23年11月26日から29日の4日間、ケニア共和国ビタ県、ウスング小学校及びカスワンガ小学校（Usungu Primary School、Kaswanga Primary School。いずれも同国西部ヴィクトリア湖周辺）を会場として、ナイロビ大学歯学部スタッフならびにICIPE診療所医師と共同で地元住民約100名の口腔健康調査を実施しました。

本調査は同地区における2回目の調査で、近隣に歯科医（歯科医院）がない住民の口腔内がどのような状態であるかを調査することを目的とし、1回目の調査では同小学校に通う児童を対象に、今回の調査では当該児童の両親・近親者を中心に口腔内健診を実施し、調査結果の分析を行い、無歯科医地区における口腔内環境改善・維持の方策等について検討を開始する予定です。

なお、今後も同地区における実態調査を継続し、住民への調査結果のフィードバックを行うとともに、最終的にはナイロビ大学歯学部と共同で、公衆衛生面からケニア政府への提言を行うことができると考えています。

（平成23年12月 医歯薬学総合研究科歯学系事務室）